

# まえがき

2007年4月に私たちは稲田先生のゼミに入るようになった。総勢14名も集まり大規模なゼミになったが、先生は愚痴を漏らしながらも笑顔で受け入れてくださった。

「四国遍路の経済効果を調べる」というテーマなのに誰も（現時点でも）遍路の経験は無く、恥ずかしながら私自身はゼミに入った当時遍路に関する知識は全く無かった。「ノウキョウチョウ？トオシウチ？」という感じだった。そんなメンバーがどういう遍路調査をするのか、アンケート項目はどうするのか、人数はどんな数え方をするのか、全て自分たちで考えたオリジナルのデータや根香寺での調査結果（2007年5月～2008年9月）がこの本には載っている。

第1章は遍路調査を始めるきっかけ、第2章は観光資源としての遍路、第3章は根香寺で行った人数調査の分析、第4章～第7章までは根香寺でのアンケート調査の分析、第8章～第13章までは私たちゼミ生が各札所を訪れて周辺の商業施設を調査した結果、第14章は現在四国全体で取り組んでいる遍路の世界遺産の登録について書いている。また、遍路を研究している方に役立つかと思い、付録としてアンケート集計データの原本と人数調査の集計データの原本等が載っている。研究の参考にしていただけると幸いです。

調査を通じて、時にはお遍路さんの優しさに触れ、時には説教され、時には自然の美しさに心惹かれ、時には自然の冷たさも味わった。そんな中で多くのお遍路さんに出会い、遍路に関する事、遍路に全く関係ないこと、様々なことを教えていただいた。

調査にご協力して下さった方に感謝致します。

2008年12月 田井邦明